

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記12の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR18010
1 研究課題名	Mucous cyst 切除後の指背部再建方法についての検討
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 手の外科・マイクロサージャリーセンター 医師 大久保ありさ 研究分担者 手の外科・マイクロサージャリーセンター 部長 平瀬雄一、医師 菅野百合、医師 古賀はる香、
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2018年4月12日 情報等調査期間 開始：2010年1月1日 ～ 終了：2017年6月30日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	指背部に生じる mucous cyst の治療後に生じる皮膚欠損については、様々な再建方法が提唱されていますが、標準化された術式はありません。今回当院における mucous cyst 切除後の指背部再建症例から至適皮弁について検討します。対象は、上記3に記載の情報等調査期間中に指背部 mucous cyst 切除後、皮膚欠損を生じ再建を要した症例とし、記録写真のない症例は除外します。対象患者様の手術記録、記録写真、カルテ記録、画像診断を過去に遡って調査します。検討項目は年齢、性別、術後フォロー期間、部位、術前爪変形の有無、欠損範囲、爪縁から欠損部までの距離、再建方法、術後爪変形の有無とし、個人が特定される情報は含みません。
5 研究の対象 となる方	2010年1月1日～2017年6月30日の間に、当院手の外科において指背部の mucous cyst の手術療法を受けた方
6 試料・情報等の 利用目的、利用方法	指背部 mucous cyst の加療において、再建に難渋する皮膚欠損を生じる症例における再建術式について、当院の豊富な症例から検討し、他院において治療方針の一助となるよう、第61回日本形成外科学会総会・学術集会にて発表します。
7 研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)	利用する情報は、手術記録、記録写真、カルテ記録、画像診断です。個人が特定されるカルテ番号、生年月日などは情報から切り離して使用します。
8 試料・情報を利用 する者の範囲	上記2と同じ範囲の者
9 試料・情報の 管理責任者	上記2に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記12のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記12のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	情報が研究に用いられることについて、ご本人(あるいは代理人)が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 連絡先 所属：手の外科・マイクロサージャリーセンター 名前：大久保ありさ(研究責任者) 住所 東京都千代田区二番町7-7 電話 03-3261-0401 FAX 03-3261-0402

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。